

プラント状況確認結果(平成25年1月22日～1月29日)

平成25年 1月29日
福島県原子力安全対策課

○ 平成25年1月22日～29日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡を3件(特記事項参照)を受けましたが、プラントの新たな異常はありませんでした。

また、発電所敷地境界モニタリングポスト、発電所専用港内の海水中の放射性セシウム濃度には、有意な変動は見られませんでした。

(1) プラント状況(1月29日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉※1 (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	5.6	5.3	—
		圧力容器 下部温度(°C)	18.3	30.7	31.4	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 (Bq/cm ³)(A系)	1.15×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.01	0.05	0.18	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	10.0	11.6	10.1	20.0

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(1月29日午前10時)

最小 2.8(MP6)～最大 6.5(MP7) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中のセシウム137濃度の測定結果(1月28日採取分)

最小 8.6(物揚場前)～最大 71(3号機スクリーン(シルフェンス外側)) ベクレル/リットル

【特記事項】

- ・1月24日 共用プール建屋地下1階西側で、室内の除染作業中に床面ポリッシャー(清掃機器)の付属電源ケーブルより発煙したが、電源ケーブルを抜き、発煙は停止した。共用プール内の使用済燃料の冷却への影響はなかった。
- ・1月24日 1号機使用済燃料プール代替冷却系で、消防ポンプによるスキーマーサージタンクへの水補給中に、原子炉建屋内の配管接続部より補給水(ろ過水)が2リットル漏えいし、水補給を中断した。配管修理後に中断していた水補給を再開、使用済燃料の冷却に影響はなかった。
- ・1月24日 除染装置(AREVA)薬液タンクにつながる配管で、ガスケット交換後の水漏れチェックに使用したろ過水が堰内に約20リットル漏えい。凍結による配管割れが原因と推定され、今後補修や保温材取付を行う。AREVAは運転休止で、汚染水処理への影響はない。

(問い合わせ 024-521-1917)